

由利本荘市東鮎川字石垣52-3
Tel. 0184-53-4111
Fax. 0184-44-8003



前の職場時代を含め、通信機器や通信システムの設計に長年携わってきた熊谷社長。

デジタル時代こそアナログで勝負



株式会社アナログデザイン

医療用ベッドに搭載するラジオの開発を受託し、製品化。アナログ技術を生かし、さまざまな分野に挑戦している。

館内共聴に接続して聞くラジオ

「アナログデザイン」は、医療用ベッドに搭載するラジオを設計・開発。初回生産の製品が完成したばかりの商品名は「コンフォートラジオ」で、病院内のケーブルテレビの館内共聴に端子を接続してラジオを聞く仕組み。ラジオ自体にスピーカーはなく、聴く際はイヤホンを使用する。熊谷仁社長は「入院ベッドの傍にはプリペイドカード式のテレビはあるが、備え付けラジオは見たことがない。ラジオを聴くことが患者さんの癒しになればうれしい」と話す。

アナログ技術で社会に貢献

アナログデザインの設立は平成26年。撤退した誘致企業の技術者3人で立ち上げた。「アナログ高周波技術で社会に貢献する新事業の創出」をモットーに掲げ、ア

ナログ技術を応用した製品の開発・設計を行っている。

デジタル化が進む今、アナログ処理を行う技術者は不足傾向。「デジタルの時代にあえてアナログで勝負したら面白いと考え起業した。そもそもデジタルだって、入口と出口はアナログに集約される。アナログだからこそできることはまだまだたくさんある」と熊谷社長。主な業務は、電子制御ユニットやラジオ受信機、高周波通信用信号処理装置、電力増幅器、ケーブルテレビ伝送機器などの設計、開発、試作、製品化、保守点検、修理など。中でもインフラ系が得意で、交通インフラや防災関係、情報伝送関係など幅広い分野を手がけてきた。

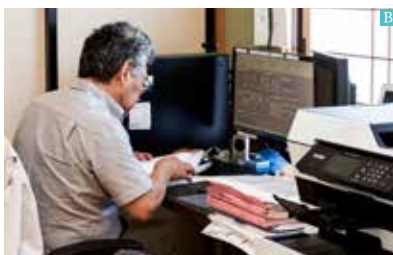
デザインの打ち合わせ重ねる

こうした技術が認められ、依頼が寄せられた今回のラジオ開発。約1年前から設計を進め、試作を繰り返してきた。外観については当センターのデザイン相談員に助言を求めた。デザインや色ばかりでなく、使い勝手などのアドバイスも受けた。

「設計・製造に配慮したアドバイスをもらい、製品づくりに役に立った。秋田県内には産業デザイナーが少ないので貴重な機会になった。」

ボタンの数を減らしてシンプルに。あくまでも使い勝手の良さを追求。イヤホンジャックは、簡単に交換可能な構造にして壊れた場合の修理費を抑えられるよう考慮した。

メーカーでは、コンフォートラジオを医療用ベッドや病室のテレビ台に備え付けて商品化する予定。「将来的には入院患者さんのみならず、1回数時間かかる点滴や透析を受ける患者さんや、自宅で介護を必要とする方にも使ってもらえたら」と期待する。



A 社内には設計やテストに用いる通信機器があちらこちらに。

B 熊谷社長を含めた技術者3人の他、設計補助、会計などのスタッフが働く。由利本荘市の本社以外に、さいたま市に営業所がある。

事業概要 産業デザインに関する助言

産業デザイン、製品開発、マーケティング等についての専門的な助言やデザイナーとのマッチング、コーディネートを行います。

お問い合わせ

あきた企業活性化センター 総務相談グループ
知財・デザインセンター担当

TEL 018-860-5614